

診療科
血液内科

疾患名
フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病(Ph+ALL)

レジメ名
JALSG Ph+ALL202(寛解導入療法)

投与間隔
1コース 9週間 計 1コース

商品名	一般名	略号	投与量	投与方法	投与時間	投与日							
						day1	day2	day3	day8	day15	day22	day29	day63
エンドキサン	シクロホスファミド	CPA	1200mg/m ² /day	div	3hrs	●							
ダウノマイシン	ダウノルビシン	DNR	60mg/m ² /day	div	1hr	●	●	●					
オンコビン	ビンクリスチン	VCR	1.3mg/m ² /day	iv		●			●	●	●		
プレドニゾロン	プレドニゾロン	PSL	60mg/m ² /day	po		← 21日間 →							
グリベック	イマチニブ		600mg/body/day	po					← 56日間 →				
メソトレキサート	メソトレキサート	MTX	15mg/body/day	it								●	
キロサイド	シタラビン	Ara-C	40mg/body/day	it								●	
デカドロン	デキサメタゾン	DEX	4mg/body/day	it								●	

備 考

グリベックの減量、休止、中止基準(寛解導入療法期)

血液毒性が発生した場合

- 1)原則として血液毒性によるグリベックの減量、休止は行わず、必要に応じて輸血、血小板輸血、支持療法(G-CSF投与を含む)にて対応する。
- 2)3週間以上続くGrade4の好中球減少がみられる場合は、グリベックの休止を考慮する。

Grade3/4の非血液毒性が発現した場合

- 1)Grade1以下に改善するまでグリベックの投与を休止し、改善後、600mg/dayにて投与を再開する。
- 2)再開後に症状の再発がみられた場合は、同様にGrade1以下に改善するまで投与を休止し、改善後、減量して再開する。

登録年月日
2008 年 9 月 22 日

登録No.
No. 183-1

